

飛騨牛だけじゃない！ 奥飛騨温泉郷「飛騨サーモン」のブランド化

株式会社穂高養魚場

<事業者の概要>

- ・所在地：岐阜県高山市
- ・代表者：株式会社 穂高養魚場
代表取締役 櫻井 聡
- ・取組内容：マス・イワナの養殖・加工・販売
- ・雇用者数：11名
- ・売上高：250万円（加工品）
- ・http://shinhotaka.com/fishfarm.html



飛騨サーモン

【取り組むに至った経緯】

- 奥飛騨温泉郷で川魚の養殖を行い、地元旅館等に食材として提供していたが、宿泊客の減少により売上げが減少した。
- 通常よりも大型に育てた大マスを「飛騨サーモン」としてブランド化を行った。

【取り組む際に生じた課題と対応方法】

- 川魚、養殖物へのマイナスイメージの払拭
→安定した環境下で生産している品質の高い川魚をPRするため、旅館等にチラシを設置した。
- ブランドの確立と旅館等以外への販路拡大
→体長30cm以上の大マスを「飛騨サーモン」としてブランド化を図り、旅館やお土産店等と連携した土産品商品の開発を行った。

【取組の効果】

- 売上高（加工品）
0円（H22） → 250万円（H24）
- 雇用者数（パート含む）
6名（H22） → 11名（H24）
- 販売先
100店（H24）

【今後の展望】

- ブランドの普及、拡大につながるような新たな加工商品の開発を行う。
- 地元農畜産物との地産地消コラボ商品を開発して地域活性化に取り組む。

（株）穂高養魚場

養殖、川魚のマイナスイメージを払拭し、
飛騨牛と並ぶブランドに育てたい！

養殖環境や餌などきめ細やかな管理により、川魚独特の臭みのない大型のマス養殖を実現

奥飛騨の冬の寒さと澄んだ空気を利用した風干しを行うなど飛騨の環境を利用した商品開発

養殖部門

- ・マス
- ・イワナ

加工部門

- ・スモークサーモン
- ・粕漬け

販売

- ・旅館
- ・土産物店
- ・消費者

パッケージデザイン協力

事業PRツール開発

包装・資材企画会社

広告代理店



大マス

天然物以上の環境で育んだ
おいしい川魚であることをPR